

# 年 きたはし

2014.1  
Vol.

20



## Contents

新年のご挨拶	2	メディカルレシビ	
病院機能評価を受審して【前編】	4	ローカロリーデザート	12
部署紹介／施設グループ	7	シリーズ	
登録医総会・地域医療連携講演会・	8	地域がん診療連携拠点病院	13
地域医療連携交流会開催		治験管理室からお知らせ	
出産体験記	10	クレジットカード払いが	
那覇市総合防災訓練	11	ご利用できるようになりました	14
		ふれあいポスト	
		登録医紹介	15

# ご挨拶



理事長兼病院長 照喜名 重一

あけましておめでとうございます。

昨年は皆様のご協力とご配慮をいただき、当院は地域医療支援病院としての役目を果たすことができました。あらためて感謝申し上げます。

さて、昨年は沖縄県で保健医療に関わる環境で大きな変化がありました。11月に人口密集地である南部医療圏で新たに2病院が地域医療支援病院に認定されました。那覇市内に限れば、北側の当院と南側にある沖縄赤十字病院の2公的病院が支援病院として市内に立地することになり、これまで以上にきめ細かく地域の医療支援ができるようになります。かかりつけ医であるクリニックの先生方と役割を分担しつつ地域住民とともに良質な医療を行うことを肝に銘じまして念頭のご挨拶といたします。



副院長兼医療支援部長 島袋 洋

新年おめでとうございます。今年は午年、皆様に取りましても飛躍の年になりますように心より祈念申し上げます。

地方独立行政法人化してもう直ぐ6年が過ぎようとしています。マンネリ化に陥りやすい頃です。イマヌエル・カント（1724-1804）の造語で「自律」と言うことばの意味に思いを馳せます。「自己規制」による本能からの自立を「自律」と呼びました。自律こそが動物と違う人間らしさであり、自律こそが人間に尊厳を与えるとしました。自己規制と自立をコインの裏表のように分けることができないものと見るのが、カントの自律の概念のようです。カントの自律の概念は、個人だけでなく、組織（法人など）にも適用できます。それには第一に組織の目的達成のために、「何からの自立が必要か」を明らかにすること、第二に「自立に必要な自己規制システム」を構築することとしています。

さて、私達那覇市立病院職員一同、自律する組織人として地域の皆様と共に歩んで行けるように努力して参りますので、今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



副院長兼診療部長 大城 健誠

明けましておめでとうございます。

年をとるごとに体内の時計の針はゆっくり進むため、相対的に絶対的時間が早くなり、一年があっ！という間に過ぎてゆく。世の中はどんどん進化し、総IT化の時代。我が家でも妻と小学生の娘はスマホを自在に操り（私はラクラクホン）、LINEとかでメールを送りまくっている。未だ十分にスマホを扱えない5歳の息子が（それでも私よりマシ）、「どうしてパパはスマホができないの？」と尋ねた時は、「パパは少し年をとって、指先が乾きすぎて、指紋がなくなっているのよ、パネルが反応しないんだよ」と苦しい言い訳をする始末。「いくらコンピュータが発達しても、血の通った感情を有する人間には所詮かないっこない！！」と豪語しても、なぜか空しい響き…。

今年は思い切ってスマホに買い替えようかなと思いついて今日この頃。

今年もよろしく宜しくお願い申し上げます。

# 新年の



副院長兼医療技術部長 屋良 朝雄

『記録は破られるためにある』とはいうが、このところの観測史上最高の云々等の記録更新ラッシュは何だろう。多くが喜べない想定外の記録。どこまで、予測すべきか？備えるべきか？世界に類を見ない加速度的に進む少子高齢化。これも日々更新される我が国の悲しい記録。

一方、今年の医療界は、診療報酬改定と消費税増税への行方に戦々恐々、ダブルパンチも憂慮される。どのようにして医療 / 病院を守るべきか？備えるべきか？先見の明、機動力の必要性を痛感する。

さて、記録には残りませんが、患者さんに信頼され、研修医に望まれ、職員の意気を感じる病院そして時代に選ばれる病院、そんな那覇市立病院になるよう、今年も頑張りましょう。



副院長兼看護部長 宮城 とも

「明けまして、おめでとうございます！」

昨年は、国内外で色々なことがありました。特に年末には、「特定秘密保護法採決」「辺野古埋め立て承認」など歴史に残る1年とも揶揄されています。社会情勢から片時も目が離せない昨今となっています。私たち医療の周辺も、長寿県の再生、4月から始まる消費税増税、診療報酬改定など難題・課題が目白押しです。嘆いてばかりもいられません。今年は午年、草原を走る馬のように大地を踏みしめながら、お互い支え合い、今年1年をしっかりと力強く駆け抜けていきましょう！！

本年が、皆様にとって幸せな1年でありますよう祈念申し上げます。



事務局長 新里 勉

ハイサイ、グスーヨー イイソーグワチ ヤイビーンヤーサイ。

昨年は、那覇市立病院にとっては、日本医療機能評価機構による病院機能評価審査の受審で始まり、終わるという1年であったと思います。機能評価審査に向け、病院職員一丸となつての取組み、お疲れ様でした。那覇市立病院は多くの有為な人材が日々、患者さんの健康と安心な生活を確保する為に、様々な努力を積み重ねており、機能評価もその一環としての成果と考えます。

平成26年はどのような年になるか見定めることは困難ではありますが、引き続き、照喜名理事長の下、「和と奉仕」の理念に基づき、市民が求める地域に根ざした医療提供に努め、医療水準の向上を図り、積極的な経営の効率化等の病院運営に向け、事務局スタッフ一同、頑張っていきたいと考えております。本年も宜しくお願いします。

イッペー ニフェーデービル。

# 病院機能評価を受審して【前編】

経営企画室 企画グループ 黒崎 浩史  
くろさき ひろし

平成25年9月12日・13日の2日間にわたり、日本病院機能評価機構による「病院機能評価」を受審しました。当院では機能評価受審にあたり、1年前から準備を進めてきました。受審を終えた今、病院機能評価の制度や評価項目、病院が機能評価を受ける意味、病院の対応などについて前編・後編にわけてお届けいたします。

## 病院機能評価とは

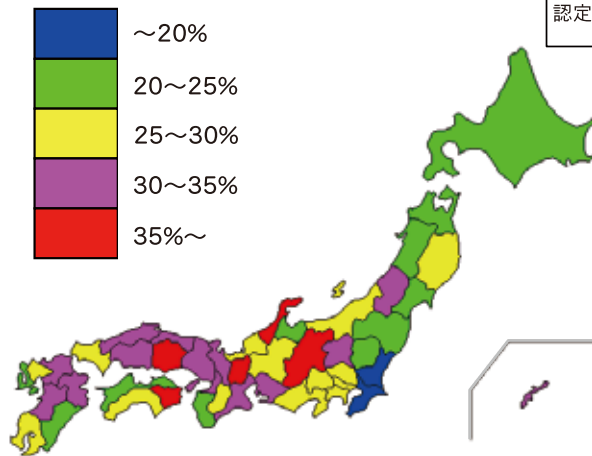
病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。サーベイヤーと呼ばれる評価調査者が中立・公平な立場にたって、評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。

この評価事業は平成9年（1997）にスタートし、現在約2400病院（全国の病院数はおよそ8500）が認定を受けています。海外に目を向けると病院機能評価制度の活動は古く、1951年（昭和26年）に米国で開始され、現在では20を超える国で実施されています。

※平成25年4月1日現在

	全国	沖縄県
病院数	8,580	95
認定病院	2,409 (28.1%)	33 (34.7%)

病院機能評価の全国受審状況



## 病院機能評価を

## 受ける意義とは

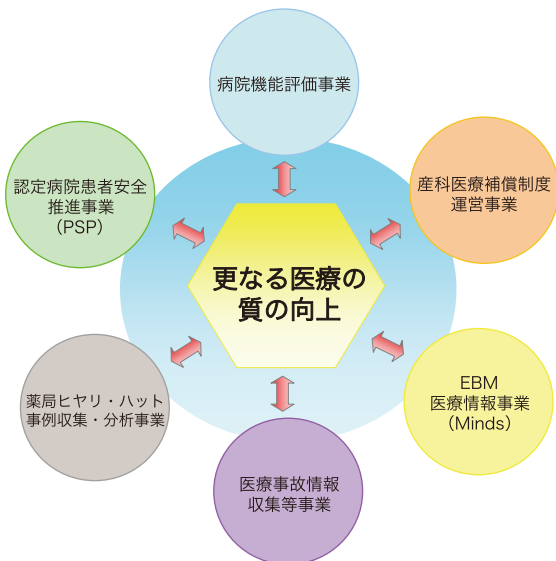
医療をみつめる、第三の目。それが病院機能評価です。

那覇市立病院では、より良い病院作りを目指し、成長する病院となるよう取り組んでいます。

ます。当院が日頃、提供している医療が一定の水準を保っているのか、適切であるかを第三者に客観的に評価される機会と捉え、受審いたしました。

## 日本病院機能評価機構とは

医療の質の向上と信頼できる医療の確保に関する事業を行い、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的としている中立的・科学的な第三者機関です。



## 新しくなった評価項目とは

### ① 病院の特性に合わせた評価項目に

平成9年から開始した機能評価は、評価項目や体制の見直し・改定を繰り返してきました。

平成25年4月には、「総合評価版」から「機能種別版」に一新されました。これは、病院の機能や特性にあわせた評価項目になったということです。ひとくくりに病院といっても、その機能や規模、専門性は異なります。そこで、機能にあわせた評価をするために生まれたのが機能種別版です。

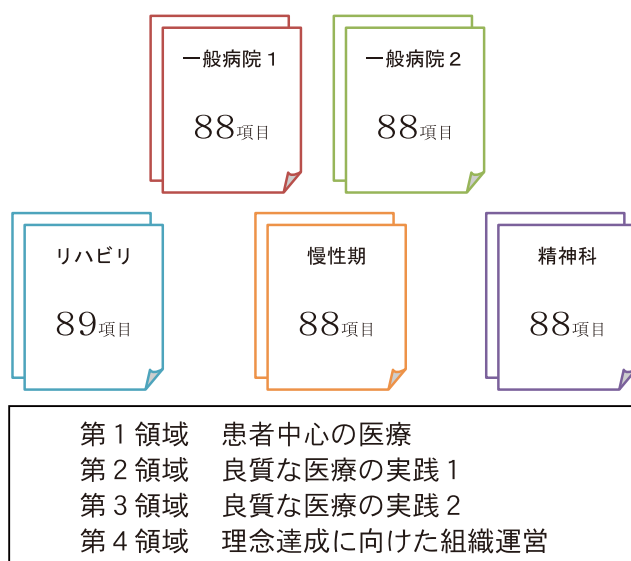
#### 機能種別版評価項目



各機能種別は左表のとおりです。

機能種別版	種別の内容
一般病院 1	日常生活圏などの比較的狭い地域において、地域医療を支える中規模病院
一般病院 2	2次医療圏などの比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える病院
リハビリテーション病院	リハビリテーション医療を担う病院
慢性期病院	療養病床などにより慢性期医療を担う病院
精神科病院	精神科医療を担う病院

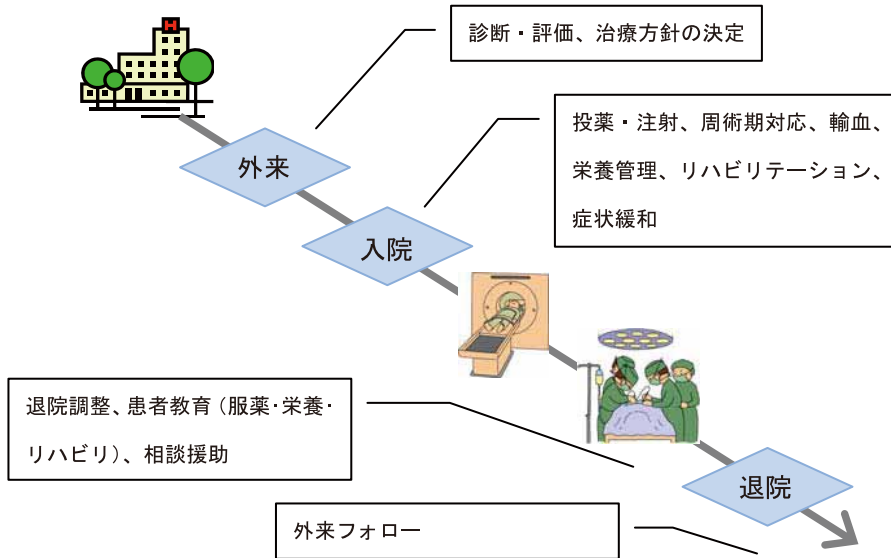
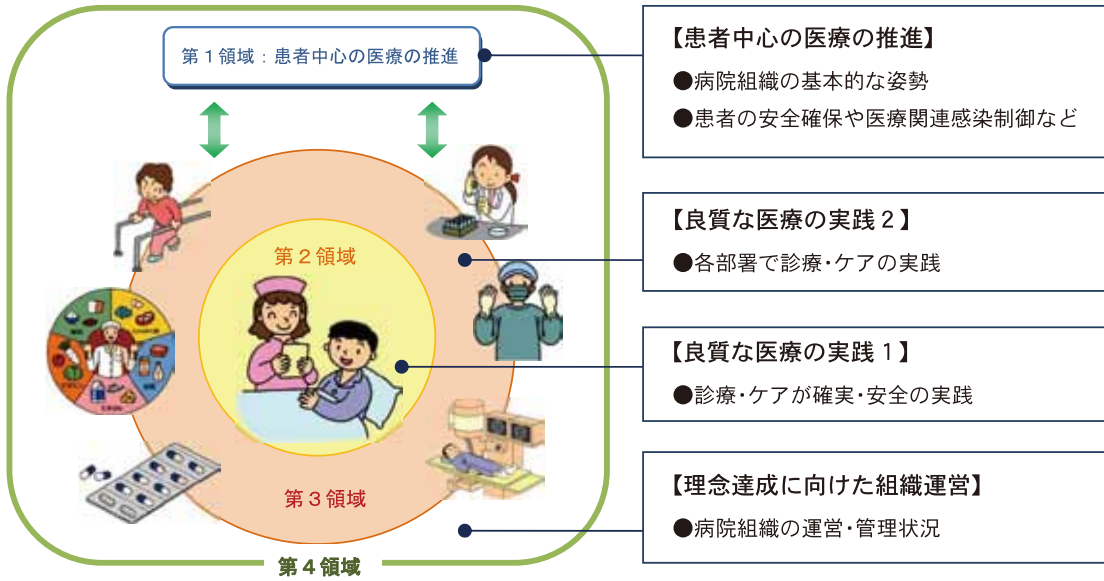
当院はこの種別に該当



### ② 評価項目の集約・重点化

臨床の現場での評価を重点におき、評価項目を整理し、評価項目数を適正化しました。新たな機能評価では「患者の視点に立った、良質な医療の実践」を評価する姿勢を明確にし、4つの評価領域が構成されました。

# 病院機能評価を受審して【前編】



③ プロセス重視の審査へ  
 病院（病棟）の代表的な疾患の診療録を参照しながら、患者さんが外来に来院し、入院、退院に至るまでの実際の経過（プロセス）に沿って確認します。

## ③ プロセス重視の審査へ

④ 継続的な質改善活動を支援  
 機能評価は5年間有効となりますが、3年目に「認定期間中の確認」を行います。これは、認定期間中の質改善の取り組みを確認し、必要な助言を受け、改善活動を支援します。  
 1 回目の審査とは見方を変え、2 回目（3 年目）の審査では、1 回目の審査時からの病院の変化や継続的質改善の努力具合を確認するものです。

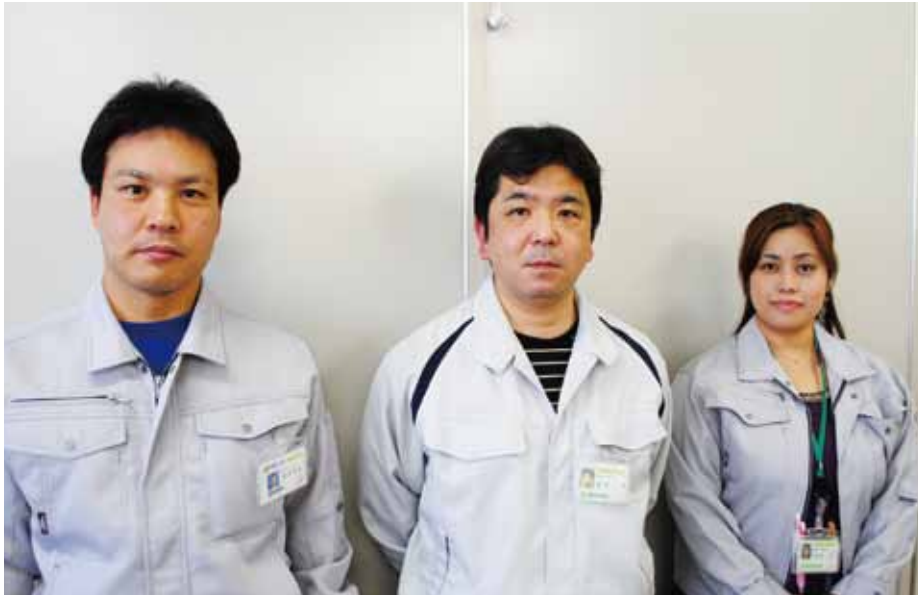
## ④ 継続的な質改善活動を支援

※次号では、実際の受審状況、病院が行った対策などを紹介いたします。



# 施設グループ

グループ長 瀬長 一泰 せなが かずやす



私たち施設グループは、事務局の奥に部署があり3名で業務を行っております。業務内容としましては、病院や付属施設の設備に関する維持管理（委託・賃借・修繕）、改修・改良工事の調整、精査、監理を担当しています。

当院の建築物は築30年以上経過していますので突発的な不具合、停電、火災・地震などの災害時に、即対応出来るよう中央コントロール室協力のもと、点検及び院内を巡回し予防・対策も行っていきます。

特に毎年行う受変電設備精密点検（法令で定められた点検）では、病院全体の商用電力を停止させるという重要な作業があります。毎年、皆様にはご不便・ご迷惑をお掛けしておりますが、患者さんや当院スタッフの協力により無事作業を終えることが出来ております。

施設グループは病院スタッフとしてドクターやナースのように医療現場で患者さんと直接接する機会はありませんが、当院を利用される皆様に『快適・満足』を提供することを目標にグループ一丸となって今後も努力し、『安全』で『安心できる』環境を維持・継続出来るように業務に励んで参りたいと思います。

## 1階改修工事完了のお知らせ

1階診療フロア奥にある入院準備センター・処方箋FAXコーナーを引っ越しました。

工事期間中は、騒音や振動・通行などに御不便・御迷惑をおかけいたしておりましたが、皆様のご理解と御協力をくださりありがとうございました。



平成25年度

# 登録医総会・地域医療連携講演会

地域医療連携室 前原 修  
まえはら おさむ

平成25年9月26日（木）、ホテル日航那覇グランドキャッスルにおいて、平成25年度登録医総会・地域医療連携講演会・地域医療連携交流会を開催しました。

これまでは地域医療連携交流会の単独開催でしたが、今回は登録医総会・連携交流会に地域医療連携講演会を加えた『トリプル開催』を試みました。

18時00分から登録医総会、18時30分から地域医療連携特別講演、19時45分から地域医療連携交流会を開催することとし、参加者に『来て良かった』思っていただけるよう、準備・行動することを協力スタッフ一同心がけました。

## 【登録医総会】



新垣地域医療連携室長の連携実績報告



登録医総会々場の様子



【講師紹介】 島袋副院長



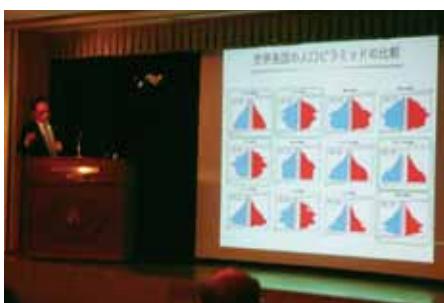
【講師】 済生会熊本病院 西 徹 副院長

## 【地域医療連携特別講演】

地域連携 | 2025年に地域医療を崩壊させないためのKey word

登録医総会では、平成24年度連携実績の報告を行い、その後、『地域医療連携 特別講演』を初めて開催しました。講師は済生会熊本病院 副院長・脳神経外科部長の西 徹先生をお招きし、『地域連携 | 2025年に地域医療を崩壊させないためのKey word』の演題で、人口動態から考える今後の医療・福祉システムや地域医療連携体制のあり方、急性期病院のあり方再確認・提言、熊本県と沖縄県の医療機関受診状況や救急受診状況の比較等を交え、非常にわかりやすく興味深い内容をお話し頂きました。

各医療機関へ案内状を発送した際にはまだ演題が決定しておらず、『地域連携に関するテーマで調整中』とだけ記したのですが、院内の参加者合計360名がお集まり頂き、改めて今後の地域医療の展望に対する関心の深さを感じました。



西先生の講演風景



西先生の講演を聞く方々



19時45分からは会場を移し、『地域医療連携交流会』を開催しました。講演会から引き続きご参加いただいた方々で交流会場はビッシリとなりました。

屋良副院長の開会挨拶、照喜名院長の挨拶、那覇市中央消防署・徳元律夫署長のご挨拶、那覇市医師会・真栄田篤彦会長の乾杯で交流会スタート。75分（1時間15分）という短い時間での交流会となりましたが、皆さん時間を上手に活用され、いい交流の場が提供できたと感じました。最後は宮城副院長の閉会挨拶で21時00分に盛会のうちに終了いたしました。

次回も講演会と交流会をセット開催する事で、『学んで交流』という新しい形を確立していきたいと思えます。

### 【地域医療連携交流会】



【開会挨拶】屋良朝雄 副院長



【院長挨拶】照喜名重一 病院長



【交流風景】たくさんの参加者で盛り上がる会場



【挨拶】徳元律夫 那覇市中央消防署長



【乾杯】真栄田篤彦 那覇市医師会長



【閉会挨拶】宮城とも 副院長



お料理の数々

与那覇和志(かずしくん)



与那覇真由美(お母さん)

平成25年6月26日、2245gの元気な男児を出産しました。6月初旬から切迫早産のため中部のクリニックへ入院していましたが、お腹の張りがおさまらずNICUのある施設への転院を早急にすすめられ、主人の職場である那覇市立病院へ搬送されました。

「一日でも長くお腹の中で大きくなっ

てから出産してあげたい」という思いで毎日を過ごしていましたが、入院16日目(在胎34週6日)の夜中、破水したことで目が覚め、それからは赤ちゃんが無事に生まれてくることだけを祈っていました。前回、逆子のため帝王切開による出産だったこともあり、今回も母子の安全を第一に考え、帝王切開手術での出産を希望しました。手術が開始され、元気な産声が聞こえた時の喜びは一生忘れることのない瞬間でした。

今回の出産を振り返ると、那覇市立病院の充実した施設環境・質の高い医療の中で、安心した出産を迎えることができました。しかし、私が本当に安心できたことは、いつでも患者と真っ直ぐに向き合ってくださった先生方や看護スタッフの皆さんの支えだったと感じています。

毎日の回診で病室に足を運んで声をかけてくださった先生。安静入院から退院までめまぐるしく展開する状況にい

つも優しく適切な対応をして下さった病棟スタッフの皆さん。手術台の上で緊張のあまり半泣きになった私の手を握って下さった手術室の皆さん。誕生した大切な命を慎重に、時に明るく看護して下さったNICUの皆さん、本当にありがとうございました。



な命を慎重に、時に明るく看護して下さったNICUの皆さん、本当にありがとうございました。





# もしもの 備えに

## 那覇市総合防災訓練

10月19日、那覇市総合防災訓練が行われました。当院は公立病院の使命として毎年、訓練に参加しています。平成24年に完成した那覇市の新庁舎及び隣接の小学校を舞台に「強い地震と余震により、5メートルの津波が襲来する」想定で行われました。

31団体総勢600名超の大規模な防災訓練となり、那覇市・沖縄県や消防・警察・陸上自衛隊などに加え、NTT(災害用伝言ダイヤルの活用)・医療関係者・学校・一般市民が参加しました。また、災害時応援協定を結んでいるイオン琉球・リウボウ・サンエー・コープといったお馴染みのスーパーマーケットによる食料品の提供が行われました。

那覇市立病院では災害に対応できる体制の確立を目指し、強化を行っています。今年度は3分で組み立てられるエアートント、簡易ベッド、担架、簡易トイレ、非常用発電機、無線機、衣類等の装備品など、アイテム面の充実を図りました。

東日本大震災以降、災害訓練の重要性は高まっています。当院も公立病院としての使命を果たせるよう継続した取り組みを行っていきます。



ご存知ですか?  那覇市防災マップ

<http://www.gis.city.naha.okinawa.jp/BousaiMap/>

避難場所や危険地域・警戒地域・浸水地域・標高などを見ることができます。

# メディカルレシピ ローカロリーデザート



1単位 (80kcal) のデザートをご紹介します。  
糖尿病や体重が気になる方で、お菓子がやめられない! という方におすすめです♪

《ポイント》砂糖の代わりに低カロリー甘味料を使用し、バターやマーガリンも使用しないことで、エネルギー控えめのデザートとなっています。

## キャロットブラウニー

一人分 50Kcal



### 材料 (15人分)

●人参	1本	B	●卵白	3個分
●ラム酒(なくても可)	適量		●卵黄	2個分
●低カロリー甘味料	大さじ1と1/2	C	●低カロリー甘味料	大さじ6
●オレンジジュース	大さじ2		●スキムミルク	大さじ1と1/2
			●薄力粉	60g
			●ベーキングパウダー	小さじ1と1/2
			●ココアパウダー	小さじ3
			●シナモンパウダー	適量

### 作り方

- ①人参の皮をむいて4mm角に切り、耐熱容器に入れてラップをかけ、電子レンジで2分30秒ほど加熱する。
- ②1を小鍋に移し、ひたひたの熱湯とAの砂糖を入れて煮詰め、オレンジジュースを加えてさらに煮詰め、冷ましておく。
- ③ボウルにBを入れてよく混ぜ、Cと人参を加え、ゴムべらでさらに混ぜ合わせる。
- ④型にクッキングシートを敷き、③を流し入れ、180℃のオーブンで20分ほど焼く。竹串を刺してみても何も付いてこなければ焼き上がり。
- ⑤熱いうちにラム酒を塗り、余熱でアルコールを飛ばし冷ます。

## レアチーズケーキ

一人分 80Kcal



### 材料 (14個分) (ゼリーカップ)

●クリームチーズ	200g	●粉ゼラチン(お湯用)	10g
●無脂肪ヨーグルト	250g	●水	100g
●低カロリー甘味料	70g	●低カロリービスケット	14枚
●レモン汁	15g		

### 作り方

- ①クリームチーズは室温に戻しておきます。
- ②ボウルに①のクリームチーズと低カロリー甘味料を入れ、泡立て器でよく練り、ヨーグルト、レモン汁を順に加えてその都度混ぜ合わせます。
- ③ゼラチンはお湯(100ml)に振り入れよく溶かし、②に混ぜ入れます。
- ④容器の底にビスケットを置き、③を流し入れ冷蔵庫で2~3時間冷やし堅めます。

## 職場体験(給食施設)を経験した小学生から感謝の手紙をいただきました。

見学者：城北小学校 大城くん

見学先は、当院の給食室。見たことない大きいサイズの鍋やしゃもじ、おたまに大興奮の大城くん。将来の夢は料理人だそうです。

目指せ！3つ星シェフ。



9月19日、沖縄県がん診療連携協議会 研修部会と共催にて当院で「化学療法とその副作用」の研修を行いました。毎年、同テーマで開催され、今年は琉球大学附属病院からがん化学療法看護認定看護師の里見雄次先生に講義してもらいました。化学療法は、近年では分子標的薬など毎年ごとに新薬が現れ、それぞれの薬剤特有の副作用をいかにマネジメントすることが治療を効率よく進めていくためには重要となります。

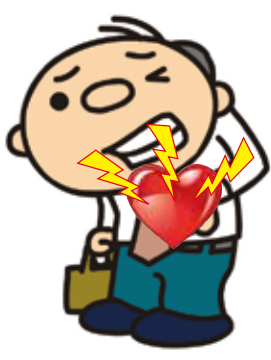
多くの副作用の中で、今回は患者にとって最もつらい副作用である、悪心・嘔吐と脱毛について、基礎的なメカニズムからテキストにも記載されていない実

践的なケアの方法をわかりやすく、また事例も交えながら話していただきました。

その中で印象に残るのは、副作用のマネジメントは「患者と共に症状緩和」ということです。私たち医療者は症状のマネジメントだけに目をとられ、患者の思いやつらさを置き去りにせず、患者のセルフケア能力を査定しながら、自己効力感を高められるよう患者自身のマネジメント方法を評価・フィードバックすることの重要性を学ぶことができました。

講師の里見先生、研修を企画・運営していただいた方たち、また参加していただいた医療者の方々に感謝いたします。





**<新規治験>**

対 象：心不全急性増悪  
 実施診療科：循環器内科  
 期 間：2013年10月21日～  
 2015年3月31日

※治験の参加には、基準が設けられています。基準を満たさない場合は、ご参加いただけないこともあります。

**治験とは??**

承認前の薬を実際に患者さんに投与し、安全性と有効性を確認するための試験です。  
 厚生労働省へ事前の届出が必要で、安全性を確認しながら実施します。

**治験管理室からお知らせ**

新しい治験が始まりました。  
 この治験についてお聞きになりたい方、参加ご希望の方は、治験管理室にお問い合わせください。

☎(884)5111(内331)



# クレジットカード払いが ご利用できるようになりました

那覇市立病院では病院を利用される方の声にお応え、この度、クレジットカード払いを導入することになりました。

入院費など高額なお支払いをする時、夜間・休日時の急な外来受診などにもご利用いただけます。

## ご利用可能なクレジットカード



### ふれあいポストとは・・・

病院に対する意見・要望・苦情の投書箱のことです。当院では院内各所に「ふれあいポスト」を設置し、病院改善や患者サービス向上に努めています。

### ご意見

#### 待ち時間が長い

いくらなんでも、救急で5時間かかるなんて待たせすぎです。

### 回答

救急外来で診察までに長時間待たせてしまい、誠に申し訳ありません。急病センターでは、救急等で搬送されてくる患者さんや看護師が問診の段階で緊急度を判断し緊急に治療の必要な患者さんを優先的に診察しています。そのような患者さんがいた場合には、医師が処置を行うため、診察がストップしてしまい待ち時間が長時間になる傾向にあります。

ご迷惑をおかけしておりますが、急病センターをご利用の際には、治療の優先度をご理解していただき、ご協力をよろしくお願い致します。

当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。オープンシステムも備えています。お問い合わせは地域医療連携室まで！ TEL.098-884-5134（直通） FAX.098-886-5502

## ゆいゆい内科クリニック

**【診療科】糖尿病（生活習慣病）・一般内科**



院長 安谷屋 徳章



	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:00~11:30 受付	/	/	○	○	○	○	○
午後 1:00~6:00 受付	/	/	○	○	○	○	○

休診日：月・火 ※祝祭日も診療しています。

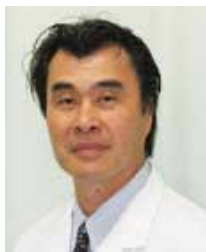
西原町我謝 786-11

☎ 946-0055



## 耳鼻咽喉科・頭頸部外科さきはまクリニック

**【診療科】耳鼻咽喉科・頭頸部外科**



院長 崎浜 教之



	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:30	○	○	手術	○	○	○
午後 2:00~6:00	○	○	手術	○	○	※

【休診】水曜、日曜祝日 ※土曜日は14:00まで

浦添市経塚 585-1 メディカルモール経塚 2F

☎ 873-3300



# 病院からのお知らせ

## 1. かかりつけ医受診の推進

まずはお近くのクリニック受診をお勧めしています。クリニック医師が必要と判断した場合、紹介状持参のうえ、受診いただきます。

紹介状をお持ちではなく、受診を希望される初診患者さんには診療費のほかに3,150円ご負担いただきます。

(ただし、希望される方全てが受診できるとは限りません)

## 2. 泌尿器科の診療体制変更

平成25年11月より泌尿科外来は「完全予約制」となりました。

紹介状をお持ちの方でも、予約のない方は受診できません。受診希望の際はかかりつけ医より当院 地域医療連携室へご連絡いただき予約をお取りください。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 診療科

内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科  
神経内科 血液内科 腎臓内科 糖尿病内科  
内分泌内科 リウマチ科 小児科 精神科 外科  
呼吸器外科 消化器外科 小児外科 内視鏡外科  
乳腺外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科  
泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 救急科  
リハビリテーション科 病理診断科 放射線診断科  
放射線治療科 麻酔科 歯科口腔外科 歯科

### 受付時間

8:00~11:00 / 13:00~16:00

※診療科によって異なる



### 病院理念

- 一、私たちは、市民の安心できる病院をめざします。
- 一、私たちは、微笑みと優しさを持って接するよう努めます。
- 一、私たちは、診療内容をわかりやすく説明・開示するように努めます。
- 一、私たちは、いつも最新の質の高い医療をめざします。
- 一、私たちは、地域の医療機関と協力して開かれた病院を目指します。
- 一、私たちは、医療・福祉・保健の相互連携の発展に努めます。

### 患者さんの権利

- ・だれでも人権が尊重され良質な医療を公平に受ける権利を持っています。
- ・病気、検査、治療などについて、理解しやすい言葉や方法で十分な説明を受ける権利があります。
- ・十分な説明を受けた上で、治療方法などを自分の意志で選択する権利があります。
- ・診療の過程で得られた個人情報は守られ、プライバシーは可能な限り尊重されます。
- ・自分の診療記録情報の開示を求めることができます。



〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1 TEL 098-884-5111(代)